



学校だより

お つ ひ



半田市立乙川東小学校
第10号
平成30年1月9日
発行責任者：真山 恵

校訓 「たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう」



新年明けましておめでとうございます

保護者・地域の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年は、本校の教育活動に絶大なるご支援・ご協力をいただきましたことに改めて感謝を申し上げます。教職員一同、今年も全力で取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。

今年は戌年です。戌年の犬は、がまん強く忠実で、人と仲良く暮らすことから、今年は、「まじめに、こつこつと努力を積み上げ、優しい気持ちで友達との関わりができる」年になりそうです。どんな才能も、努力がなければ開花することはありません。子どもたちのもつ無限の可能性が、努力によって将来花開くよう、私たち教職員一同も、まじめに実践を積み上げていきたいと思ひます。

「はんだこども議会」で堂々と意見発表 12月18日(月)

市制80周年記念事業「はんだこども議会」が半田市役所議場で開かれました。本校からは、6年生の河井楓香さんが参加しました。夏休みから乙川中学校区の人たちとともに、「健常者・高齢者・障がい者がみんなで楽しく暮らせる半田市」をテーマに3回の学習会に参加しました。河井さんは、6年生が総合的な学習でこれまで取り組んできた福祉の学習をまとめ、「福祉について正しい知識を得るために学習する場が大切だと思います。心のバリアフリーを実現し、誰もが支え合って暮らせる町にしていきたいと思います。」と、思いを込めて意見発表しました。市長さんの前で堂々と発表する姿は実に頼もしかったです。



ごんごん駅伝大会 今年も大健闘！ 12月22日(金)

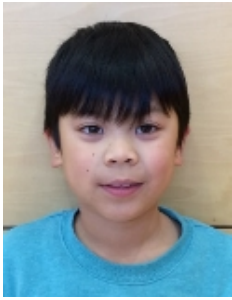
10月11日から約2か月間、早朝に続けてきた駅伝大会の練習。終業式の後、全校で壮行会を行いました。本番でも練習の成果をしっかりと発揮し、力いっぱいの走りを見せてくれました。スタンドからも、大きな声援と歓声が送られていました。

★駅伝の部 第3位(2年連続) ★ロードレース6年女子の部 第3位 間瀬 美涼さん

		駅伝の部	ロードレース
出場選手	6年	牧野 亘	山下 直輝
		島本 きら	間瀬 美涼
	5年	杉浦仙太郎	上坂 哲太
		田中 朱音	山田 沙和
	4年	土射津和希	清水 睦月
		森田 小春	佐藤 苺華



終業式 「2学期がんばったこと」の発表



1年 よこい ことろう

ぼくが、2学期にがんばったことは三つあります。

一つ目は、フェスティバルのはっぴょうです。じぶんのセリフをいえでたくさんれんしゅうしました。本ばんはとてもきんちょうしたけど、おとうさんやおかあさんのまえでじょうずにいえて、うれしかったです。こんどのフェスティバルもたくさんどりよくをして、6年生にまけないくらい、すばらしいフェスティバルにしたいです。

二つ目は、かんじです。先生のおしえてくれたポイントをしっかりきいて、じょうずなじをかけるように気をつけました。花まるを五つれんぞくでとれたときは、すごくうれしかったです。がんばり大かいは、98てんでとてもくやしかったので、3学期は100てんをとりたいです。

三つ目は、かかりです。2学期のかかりは、はいたつがかりです。はいたつのしごとは、たいへんだけど、たのしいです。くばっているときに、じぶんのものがあるとうれしくなります。2年生になっても、たのまれたしごとやべんきょうをしっかりとがんばりたいです。



2年 金井 みなみ

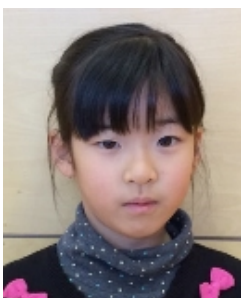
2学期にわたしががんばったことは二つあります。

一つ目は算数の九九です。なぜかという、九九はすごくむずかしいからです。一から五のだんは、すぐにおぼえることができました。だけど、六から九のだんは、なかなかおぼえることができませんでした。だから、たくさん家で声に出してれんしゅうしました。おふろに入っているときや、ねる前にもれんしゅうしました。そうしたら、九九のぜんぶのだんが、いえるようになりました。

はんたいからも、すらすらいえました。たくさんれんしゅうしていえるようになったので、すごくうれしかったです。

二つ目は、図工の読書かんそう画です。自分でへただと思っていたので、絵もすごくにがてでした。だけど、友だちが、「じょうずだね。」と言ってくれて、絵がすきになりました。だから、しっかり文を読んで、絵も時間をかけてがんばってかきました。そうしたらかいだんにかざってあってびっくりして、すごくうれしかったです。

これからも算数と図工だけではなく、ほかのべんきょうもがんばっていきます。



3年 福原 緩南

わたしが2学期にがんばったことは二つあります。

一つ目はリコーダーです。タンギングという言葉も知らなくて、どう指を動かせば音が出るのかもわかりませんでした。でも、毎日たくさん練習するたびに、だんだんと上手になっていきました。今では、音がはなれた曲でもふけるようになりました。フラットやシャープがつく曲でも、リコーダーでふけることができることも、はじめて知りました。むずかしい曲もリコーダーでふけるようになったので、わたしは一生けんめい練習してよかったと思いました。

4年生になると、もっと

むずかしい言葉や曲が出てくるけれど、がんばって練習してむずかしいことをのりこえていきたいです。

二つ目は、いきいきフェスティバルです。ミッキーマウスマーチではピアノをやりました。ピアノは一人しかいなかったんで、とてもせきにん感が強かったです。なので、むずかしいところを何度も練習しました。そして、いきいきフェスティバルは、ど力のせいかがあられました。上手にできてよかったと思いました。ペコリナイトのダンスでは、ふりつけを決めることがむずかしかったです。歌詞に合うふりつけをかんがえることは、なかなかできませんでした。はじめの部分を友だちが考えてくれたおかげで、わたしも思いつくことができました。ペコリナイトの合そうも一生けんめい練習したので、本番は上手に発表することができました。最後は、フェスティバルで一番くろうした群読です。なかなか全員の声がそろいませんでした。なので、全員でリズムを決めました。すると、声がそろいました。本番もリズムを合わせ、大きな声を出しました。とても上手な発表ができて、とてもうれしかったです。心をつにして助け合うと、たくさんのことにちょうせんできました。これからも、チームワークを大切にしたいです。



4年 鈴木 瞬

ぼくが、2学期がんばったことは、三つあります。

一つ目は、話し合いがいっぱいできるようになったことです。ぼくは、1学期、あんまり話し合いができませんでした。でも、2学期に「自分から話してみたらどうかな」と思い、自分から話してみたら、アイデアがいっぱいうかび、話せるようになりました。ぼくは、「話し合いって楽しいな」と思いました。

二つ目は、「おはよう」と自分から言えるようになったことです。ぼくは、自分から言うのがはずかしくて、相手の子が「おはよう」と言ってくれたら「おはよう」と言っていました。でもぼくは、「自分から言うのってカッコいいな」と思い、次の日に自分から「おはよう」と言ったら、相手の子も「おはよう」と言ってくれました。ぼくは、「やったあ。自分から言えたぞ〜。」と言ってしまいました。今も自分から「おはよう」と言っています。

三つ目は、分からない問題を「分からな〜い。」と言わなくなったことです。前、ぼくは分からない問題があると、すぐ、「分からな〜い。」と言っていました。それで、先生に「すぐ分からないと言わないで、一回考えてみたら。」と言われました。それでぼくは、分からない問題があったとき、しんけんに考えてみました。そしたら、答えがうかび、言わなくなりました。ぼくは、「分からない問題があったら一回しんけんに考えたらいいんだ」と思いました。ぼくは、今でも分からない問題があったら、一回しんけんに考えてやっています。これからも、いろいろなことをがんばりたいです。



5年 田村 穂香

私が2学期にがんばったことは二つあります。

一つ目は、算数の単位量当たりの大きさです。特に、単位量当たりの大きさを比べるための考え方が二通りあり、最初はどちらを使えば良いのか分かりませんでした。宿題で単位量当たりの大きさが出ると、いつもはすらすら出来る宿題が何時間もかかってしまいました。私が出来なくて困っているときに、お母さんが、「もう一度教科書を確認してみて。」とアドバイスをしてくれました。

た。何度も何度も教科書を読み直し問題を解いていくと、だんだんと理解することが出来ました。

テストでは、満足のいく点数が取れました。この体験を通して、分からないときに分からないままにせず、教科書やノートなどを使って自力で解決することの大切さを学びました。

二つ目は、体育のマット運動です。私は、1年生のころからマット運動が苦手でした。毎年毎年今年こそはマット運動をがんばろうと思って、うまくいきませんでした。そんなとき、私が一番苦手な倒立を友達が教えてくれました。「足が曲がるとかっこ悪いから、足をぴんとのばしてね。」というアドバイスをもらいました。そのアドバイスを生かして練習してみると、少しずつ出来るようになりました。この経験からは、苦手なこと、出来ないことを友達と声をかけ合うことで、高め合うことが出来ること、そしてそのよさを感じました。

この二つの経験を通して、まずはあきらめずに自分でがんばってみること、それでも出来ないときは、周りの人々のアドバイスを素直に受け入れることの大切さを知りました。3学期には、マット運動や算数を教える側になれるように努力していきたいです。



6年 杉浦 鈴菜

私は、社会の授業で奈良の大仏づくりの大変さを勉強しました。そんなに苦労して作った大仏を実際に見てみたいとずっと思っていました。目の前で見た大仏は、思ったよりも大きくて優しい顔をしていました。東大寺の柱の穴くぐりは、どきどきしたけれど、うまくくぐれてうれしかったです。

京都では、私たちの班だけジャンボタクシーで回りました。清水寺のかけ作りは、くぎを一本も使わないのにすごく高さがあったので、びっくりしました。運転手さんは、お参りの仕方や白いローソンなど京都のいいところを教えてくださいました。

修学旅行の思い出の写真集を先生といっしょに作りました。どの写真を選ぶかを考えては、字はていねいに書きました。たまに、漢字で書ける字をひらがなで書いてしまっって書き直したけど、一生けんめいづくりました。完成してとてもうれしかったので、最高の思い出になりました。



6年 山田 航平

2学期、ぼくが特にがんばったことは二つあります。

一つは漢字・計算がんばり大会です。テストのために、ノートに一日何ページもテストはん囲を自主学習しました。テスト直前の放課にも、しっかり確認してからテストに臨みました。次の日、テストが返ってきたら、算数はおしくも間ちがい一つ、漢字は100点でした。今までは60点や70点ぐらいだったので、びっくりしてしまいました。でもとてもうれしかったです。もうすぐ中学生だから、真剣にがんばらなければという気持ちが出てきて、努力することができました。

もう一つは1年生の教室そうじです。1年生に「静かにやるよ」「机を運んでね」と教えながらやるのですが、ぼくは見本を見せたり、面倒を見たりすることが大の苦手でした。でも1年生ががんばってくれるので楽しくできました。苦手だったことにちょう戦し、自分でも成長したと感ずることができた2学期でした。3学期も目標を見付けがなばります。

代表児童は、舞台上で実に堂々と発表することができました。中には、原稿を持たずに発表する子もいました。また、どの学年の子どもたちも、代表児童の発表を真剣に聴き入っていました。

3学期は、子どもたちのどんながんばりが見られるか、楽しみにしています。